

With

2003 秋 vol. 26

ウィズセンター情報誌

- パートナーシップ21講演会 ☒ ベストパートナーシップ実践編…私たちの場合 ☒
- ウィズセンター開館5周年記念事業（ウィズフェスティバル2003） ☒



ベストパートナーシップ実践編 …私たちの場合

ジェンダーの視点とコミュニケーション技術を併せ持ち、
地域でファシリテーター（促進者）として活躍できるカップルを養成するため、
パートナーシップ21 講演会を開催しました。

プロフィール

ゆみこ・ながい・むらせ

熊本市生まれ。世の中の常識とされてきた夫と妻の役割を逆転させ、ライターとして活動。女性問題・住宅・食生活など幅広い分野で執筆活動を展開している。

☒

村瀬 春樹

横浜市生まれ。1980年ハウスバンド（主夫）になる。住宅文化・生活文化・インテリア・食生活・セクシュアリティ・フェミニズムなどの各分野にわたり新聞、雑誌などで健筆をふるっている。

☒

●女と男、どこがちがう？

ゆみこ：まず、女性と男性の違いを解き明かすところから始めましょう。解剖学的に言えば生殖器が異なります。男性は望んでも子どもを産むことはできません。また、一般的には男性の方が骨格、臓器が約2割大きいとされています。3億年前は男女はまったく同じ形、同じ大きさ、同じ数の遺伝子を持っていました。それが3億年の時をかけて、形、サイズ、数も違う遺伝子に進化したのです。性差に関わる2つの染色体、XとYのうち、Y（男性の染色体）はXから進化してできた染色体で、大きさはXの半分です。そのYが急速に退化しているそうです。このままいけば、1千万年でYは消滅してしまうといわれています。そうなると人間はまったく新しい性のシステムを獲得することになります。



村瀬：これまで話してきた性差は生物学的な違いです。だれが望んだわけでもなく、人類の進化を自然に受け継いだ性差。つまり、天然の性差であって、僕らにはどうすることもできません。

生物学的な性差は人格、社会的能力、人間の魅力、人生の大きさとは、まったく無関係です。しかし、この違いがあたかも男女の能力の違いであるかのように、長い間、説明されてきました。男性が力を持っていた社会で、社会的、文化的、宗教的につくら



れた性差、これがジェンダーです。

ゆみこ：ジェンダーが生んだ慣習の一つが性別役割分業です。男は仕事、女は家庭、働く女性は仕事も家庭も。こうした社会のあり様は女性をその時代、その社会から切り離し、経済力、社会的能力を開花させるチャンスを奪いがちです。性別役割分業は現実社会のなかで、システム、制度、慣習として岩盤のように根強く残っています。まさに二極対立的な男女関係が社会の中に生まれているのです。

村瀬：女性が結婚し、家庭に入ると夫の収入に頼らざるをえません。日本の法律では民法によって、夫婦別産制をとっているのが基本的には夫の収入は夫のもの。家の名義も圧倒的に夫名義。つまり、妻は夫の愛だけを頼りに自分のものではない家に、自分のものではない収入で暮らしている。ですから、離婚すれば家も収入もなくなります。95年の調査ではシングルマザー世帯の年収は202万円で、一般世帯の約1/3です。

ゆみこ：日本で性別役割分業が法律に明記されたのが、明治31年制定の明治民法です。第14条に妻は無能力者と定義された条文があります。財産の授受や借財、保障、訴訟などはすべて夫の許可が必要という内容です。つまり、自分でローンも組めないし、離婚の申立てもできない。人生の大事な場面で自己決定権がないのです。太平洋大戦が終わるまで使用していた尋常小学校の副読本には、女性の義務として『さしすせそ』が記されています。さ=裁縫、し=しつけ（子育て）、す=炊事、せ=洗濯、そ=掃除。今も意識の底に根強く温存しています。☒



☒ ●踏んでいる者は、☒
☒ ●踏まれている者の痛みがわからない☒

村瀬：知らない間に当たり前になっている感覚。男が強い、能力がある。実は僕もその一人でした。これが、一番身近にいる女性をどれだけ傷つけているか。男は気付いていません。僕にその気づきが訪れたのが1980年代初頭。1年7か月のハウスハズバンド経験でした。当時、子供は小学3年生と4歳。僕は猛烈サラリーマン。3月の寒い朝、ゆみこが「もう、うんざり！」と言いました。その後は、ゴミ出し、子供の弁当、保険の集金など、家事と育児の話を次々と。彼女の愚痴、その程度の認識でした。だから僕は「わかっているけれど、今の仕事の状態では家のことなんかできない」と言いました。そうしたら、ゆみこが「じゃあ、やめれば？」僕は仕事をやめて主夫になりました。☒

ゆみこ：当時、私は雑誌のスタッフとして、レポートを担当していました。しかし、私は読者が共感する文章を書く技術をまだ習得していない時。書く文章、書く文章がボツです。気持ちは荒すざみまました。深夜1、2時まで働くのはザラ。しかし、家に帰れば男3人がスヤスヤ寝ている。「私がやめるわけにはいかない！」と、書いた辞表を破り捨てました。私は会社で挫折感を味わい、村瀬は社会から切り離されていく感覚に、キッチンで挫折感を味わった。私たちは、女は仕事、男は家庭という性別役割分業をやっただけでした。こうして出た結論が男も女も経済的に自立し、両方が家事・育児に責任をもつ。これだっ!!と実感したのです。☒

村瀬：3月の寒い朝、ゆみこから手厳しい申立てをうけなかったら、僕はずっと彼女の足を踏んだままでした。踏んでいる者は、踏まれている者の痛みがわからない。痛いと思っている人が、声をあげないとダメなんです。日本では、どうあがいても男性だけの労働力では社会がもちません。さらに共働き（平均月収62万円）と一人働き(45万円)では、年収格差が大きく開きます。10年すると2000万円の格差です。高齢域に資産が持てるかどうか、つまり、ライフデザイン（人生設計）でも一人働きは不利なのです。☒

☒ ●家族との人間関係を結び直す☒

ゆみこ：ここで介護の話をしてしまおう。現在、介護の担い手は80%が女性（妻3割、嫁3割、娘2割）です。内、4割は介護のために仕事をやめたり、責任の軽い部署に配置転換したりしています。現在の女性は職場で一人前の仕事、家庭に帰って一人前の家事。これに介護がプラスされれば、彼女たちが自分の人生を過ごす時間はなくなります。しかも、これらは賃金にカウントされない労働。介護は子育てと違い先がみえません。しかし、介護を担う嫁は、血縁外にあるため財産相続権はないのです。21世紀を生きる女性たちのバリアとして、今、介護問題が立ちふさがっています。これをなんとかしない限り、女性が自由に生きることは難しい。女性は自己防衛をすることです。介護保険制度の利用はもちろんですが、「嫁である私に介護を頼むのなら、仕事として考えさせてくれ。」と、夫の兄弟たちに仕掛けることも一案です。親に預貯金があれば介護基金として介護担当者にペイしていくのもいいでしょう。そのためには家族を含め、周辺の人たちと人間関係を結び直す必要があります。幸せな老後を築くために…。☒



参画社会へ Let's Go!

イーブくらしき座

たのしく元気が湧く啓発活動

はじめに イーブくらしき座の母体であるイーブくらしきネットワークは、倉敷市の呼び掛けで1994年6月に「くらしき女性ネットワーク」として発足。その後、「イーブン(等しい・互角な)」をもじって、今の名称になり、現在、学習・文化・福祉・環境分野等の32団体と個人会員の計11608人が登録されている。会員相互の交流・情報交換を図り、会員の学習意欲や向上心を高め合い、男女が共に生き生きと暮らせる社会の実現を願って活動している。これまでに、市の男女共同参画イベントへの参画、環境シンポジウムの開催、市民1000人へのアンケート実施、島根、高知県などの団体との交流、また、使用後の国語辞書を集めて倉敷芸術科学大学の留学生へ毎年寄贈する活動も行っている。

0年のネットワーク活動の中で生まれた イーブくらしき座

2001年、倉敷市主催の「男女共同参画フォーラム」でワークショップを担当。これがイーブくらしき座の旗揚げ。「どうすれば、市民に男女共同参画への関心をも



てもらえるか？」メンバーで知恵を出し合い、演じる人も、見る人も楽しく元気が湧くもの

にしようと、テレビ番組の「生活笑百科」を手本に考案したのがジェンダーコント笑百科「自分らしく生きるって？」である。メンバーは、女性11人男性2人の計13人。コントは5コンビ(ゴールドコンビ、クリスタルコンビ等)6作品。「育児休業ってなんで?」「結婚・結婚・ああ結婚」「女のお・も・み」「DVってなあに?」「大切なもの」「男の家事」。コンビを組みコントをする人、発言者としてコメントする人、それぞれが岡山弁で自作自演している。

笑いを通じた啓発に手ごたえ

現在、公演回数43回。幼・小・中PTA研修会、公民館などの人権講座、商工会議所や地域の婦人会、敬老会などから依頼がある。参加者からの「人権講座は堅苦しいものと決めつけていた。こんな話なら家族と来るんだった。うちの茶の間でやって～」という嬉しい感想を聞くと、

メンバーはますます元気が出る。8月23日には、国立女性教育会館(埼玉県)の「女性学・ジェンダー研究フォーラム」にワークショップで参加した。

男性の参加が課題

コント「男の家事」に出演のセラミックコンビ 福山哲郎さんは、ネットワーク文化部所属。根っからの明るさはコン



福山哲郎さん(左側)

トにぴったり。「この活動にかかわって以来、子どもに『母さんの手伝いせ〜』と言えなくなりました、家事は妻の仕事と決めつけていた自分に気付いた。同居の母は、私が台所に立つのを怪訝そうに見ていましたが、父も立つようになると、嬉しそうです。イーブくらしき座は、現場主義の啓発活動です。」と。

発言者担当の原田泰治さんは、ネットワーク環境部長。もともと漫才・漫談が好きで、バンバン駄洒落が飛び出



原田泰治さん(右端)

す個性派俳優ぶりを発揮している。「女性と一緒に楽しいですし、福山さんの加入で心強くなりました。私も妻も農家の生まれで、朝は朝星、夜は夜星と一生懸命働くことを見て育った。この活動で、一人ひとりが自分らしい生き方を見つけられるといいなあ〜と、私も一緒に模索しています。ちょっと活動が忙し過ぎるかな?」と苦笑い。

(取材 情報コーナー:池上清美)

DV被害者サポーター養成講座☒ (基礎講座)を開催☒(7月5日から全5回)☒

大きな社会問題になっているDV…ドメスティック・バイオレンス。岡山県では、その被害者への支援をボランティアで行おうとする人たちを養成する講座を開催しました。☒

第1回は、大阪府立女性総合相談センターの川喜田好恵さんから、「ドメスティック・バイオレンスの実態と対応の課題」と題して、DVを理解するための基本から支援に当たる際の重要なポイントまで、ご自身の仕事や調査結果をおしりの具体的な話がありました。☒

☒ 2回目以降「DV防止法～成立の過程と概要」や「DV被害者の心理」「DVが子どもに与える影響」「DV被害者との接し方」「民間シェルターの運営」などについての講義やDV被害者自身の体験談などを聞き、DVに対する知識と理解を深め、被害者サポートへ向けての第一歩を踏み出しました。☒

☒ なお、この基礎講座を修了した人は、岡山市が10月11日から開催するフォロー講座が受講できることになっています。☒



川喜田好恵さん☒

参加しませんか?

国際会議☒

男女共同参画グローバル政策対話岡山会議☒

テーマ 2005年に向けての☒
更なる行動とイニシアティブ☒
～パートナーシップで築く☒
男女共同参画を岡山から～☒

日時 平成15年11月9日(日)☒
シンポジウム 13:00～17:30☒
交流会 18:00～19:30(希望者のみ)☒

内容(予定)☒

基調講演☒国連女子差別撤廃委員会(CEDAW)委員長☒
Prof.Dr.Ayşe Feride Acar☒

基調報告☒コーディネーター…大西珠枝(岡山県副知事)☒
オーストラリア、ノルウェー、アフガニスタン、☒
国連難民高等弁務官事務所からの有識者☒

分科会☒第1分科会☒
「男性の役割～男女共同参画を目指し尊重と協働～」☒
☒コーディネーター…☒山美果子(順正短期大学教授)
☒ネリスト…☒田武彦、杉本慧子、海外有識者☒
第2分科会☒
「紛争と女性～貧困や暴力からの脱却～」☒
コーディネーター…☒順子(ウィメンズセンター岡山スタッフ)
パネリスト…☒谷文美、AMDAの女性スタッフ、☒
海外有識者☒

全体会☒コーディネーター…☒西副知事☒

場所 岡山国際交流センター(岡山市奉還町2-2-1)☒

申込み、その他詳しいことについては、☒
岡山県男女共同参画課 ☒086-226-7313へおたずねください。

ウィズカレッジ☒

その☒メンタルヘルス講座☒

～癒しのテクニック教えます～☒

7/27

時代を反映し、「うつ」が増えているといわれる現代、こころの健康を保って上手にストレスとつきあっていくには…。☒
夫婦や親子、介護、地域などそれぞれの場面で発生する問題についてワークシ

ョップ形式で、また、岡山大学医学部教授で医学博士の川上憲人先生による講演「なんで女性にうつが多いの?～タフなこころの作り方7ヶ条」でうつ☒についての理解を深めました。☒



- うつ病予防からみた☒
～タフなこころの作り方7ヶ条☒
- 一☒自分自身を知る☒
 - 二☒とりのある生活をする☒
 - 三☒幽事に優先順位をつける☒
 - 四☒でも自分だけで抱え込まない☒
 - 五☒イペースの生活を☒
 - 六☒活の変化に注意する☒
 - 七☒「うつ病」かなと思ったら☒
早めに専門家を受診する☒

(当日のレジュメから)☒

その☒語り伝えたい女の生き方☒

～それは第二の誕生日だった～☒

8/24

「女人随筆」の同人で、岡山県原爆被害者の会会員の小野山博子さんは1922年生まれ、医学博士の井久保伊登子さんは1936年生まれ。ともに激動の時代を生き抜いてきた二人の女性に「女の生き方」を語っていただきました。原爆に奪われた青春から今日の平穏な日々への道程。自分らしく生きるために繰り返した地道な挑戦。☒

平和を願う熱い思いが参加者の胸に伝わった2時間でした。☒



左から井久保伊登子さん、小野山博子さん☒

ウィズセンター開館 5周年記念事業(ウィズフェスティバル2003)

テーマ 5周年・合おう・GO 「ともに創ろう輝く未来」
～あなたもわたしも参画社会～

開催日 11月23日(日)、24日(月)、25日(火) 会場 ウィズセンター会議室及びサロン
オープニング行事はクレド岡山ビル1Fふれあい広場

11月23日(日) 2:30～

- オープニング
- 開会式 男女共同参画功労者の表彰
- 対談 13:30～14:10
「時代の潮流を読む～男女共同参画の視点で～」
吉永みち子&石井正弘(岡山県知事)
- 講演 14:20～15:30
演題 「これからのまちづくりと男女共同参画」
講師 吉永みち子



吉永みち子 プロフィール

- ・ノンフィクション作家
- ・東京外国語大学インドネシア語学科卒業
- ・競馬専門誌「勝馬」、夕刊紙「日刊ゲンダイ」の記者を経て、専業主婦の後、仕事に復帰、以来フリーで活動。
- ・郵政行政審議会、地方分権改革推進会議等の委員を歴任。
- ・「気がつけば騎手の女房」、「総理とその女房」、「性同一性障害」、「老婆は一日にしてならず」他著書多数。

11月24日(月) 0:00～16:10

第1会議室

- ワークショップ「コント笑百科(自分らしく生きるって?)」
10:00～11:30 (イーブくらしきネットワーク)
- ワークショップ「糸操り人形劇『しらゆきひめ～行動するお姫様の物語』」
13:00～14:10 (邑久ライフフォーラム)
- ワークショップ「女性の人権が大切にされる社会をつくるためには」
14:40～16:10 (岡山女性フォーラム)

第2会議室

- 講演及びワークショップ「虐待を防止するために私たちにできること」
10:00～12:00 (おかやまライブ・21ネットワーク)
- 活動報告「海外自主研修報告『オーストラリア・イギリス・サンフランシスコ やれば、出来る』」
13:00～14:30 (おかやま女性国際交流会)
- 活動報告と意見交流「ど～する?21世紀を担う男性への意識啓発」
14:40～16:10 (世界女性会議岡山連絡会)

11月25日(火) 0:00～12:00

第1会議室

- ワークショップ
「ホームページ作りました。みて、見て、喋って」
(レインボーパンサーズおかやま)

第2会議室

- ワークショップ
「自分さがし 女も男もカラーであなたらしく」
(日本色彩福祉協会)

11月25日(火) 2:30～15:00

- 登録団体交流会

ひとことメッセージ
表彰式及び講演会

日時 平成15年10月26日(日) 13:30～15:30

場所 ウィズセンター

- 表彰式 13:30～13:40
- 講演会 13:45～15:30

演題 「おやじの腕まくり」

講師 村上信夫
(NHKチーフアナウンサー)



男女共同参画フォーラムを県内各地で開催

男女共同参画社会を実現するためには、身近な家庭や地域で、そこに住んでいる人が主体となって取り組むことが重要です。ウィズセンターでは、地域の皆さんにそうした意識を持っていただくとともに、行動できるグループづくり目指し、市町村と協力しながら、県内各地でフォーラムを開催します。詳しいことは各市町村の広報紙等でお知らせしますので、ぜひご参加ください。

開催市町村	開催月日	場所	講師
備前市	10月4日(土)	市民センター	加野芳正
笠岡市	11月29日(土)	笠岡市保健福祉センター	落合恵子
玉野市	11月30日(日)	玉野市総合文化センター	村瀬春樹
美作町	11月30日(日)	美作町町民センター	未定
哲西町	12月7日(日)	きらめき広場・哲西	加野芳正
新見市	1月25日(日)	まなび広場にいみ	國信潤子
北房町	1月25日(日)	北房町民センター	未定
倉敷市	2月1日(日)	倉敷芸文館	未定

他開催を予定している町：加茂川町、矢掛町、勝山町、英田町 他

技術講習会

パソコン(基礎) パソコン(Word, Excel)の基礎

〔期間〕 11月13日(木)～12月12日(金)の月・水～土
 〔時間〕 10:00～16:00
 〔場所〕 津山男女共同参画センター さん・さん
 (アルネ・津山5階 ☎(0868)31-2533)
 〔受付期間〕 10月15日(水)～10月17日(金) 11:00～15:00
 〔受付場所〕 津山男女共同参画センター さん・さん
 〔問い合わせ先〕 ウィズセンター

パソコンと販売 パソコン(Word, Excel)の基礎及び販売士3級受験コース

〔期間〕 1月13日(火)～2月13日(金)
 〔時間〕 10:00～16:00
 〔場所〕 ウィズセンター及び専門学校ピーマックス
 〔受付期間〕 12月16日(火)～12月20日(土) 9:30～16:30
 〔受付場所〕 ウィズセンター

受講資格 結婚・出産・育児・介護など家庭責任の分担を理由に離職し再就職を希望する方

受講料 無料(教材費等は実費負担)

申込方法 受付期間内にご本人が各センターへお越しの上、お申し込みください。

就職準備講座 働きたいあなたに

〔受講資格〕 結婚・出産・育児・介護等で離職し、再就職を希望する方
 〔期間〕 11月18日(火)～11月27日(木)のうち、土、日などを除く6日間
 〔時間〕 10:00～15:00
 〔場所〕 ウィズセンター
 〔受付期間〕 10月30日(木)～11月12日(水) (但し、日、月を除く)
 〔受講料〕 無料
 〔申込方法〕 受付期間内の9:30～16:30にご本人がウィズセンターへお越しください。(来所困難な場合は電話でも結構です。)

内容
 ・知っておきたい社会保険と税金
 ・企業情報の集め方と見方
 ・ビジネスセンスアップ講座
 ・資格の生かし方
 ・自己表現トレーニング
 ・カラーコーディネート など
 ・リアリティセラピー

起業家応援講座

共催:岡山県産業振興財団

〔受講資格〕 起業に興味と意欲を持っている女性 第1回、2回とも出席できる方
 〔日時〕 第1回 11月28日(金) 10:00～16:00
 第2回 12月 5日(金) 10:00～16:00
 〔場所〕 ウィズセンター
 〔受付期間〕 11月 4日(火)～22日(土) (但し、日、月を除く)
 〔受講料〕 無料(教材費等は実費負担)
 〔申込方法〕 受付期間内の9:30～16:30にウィズセンターへお電話ください。

申し込み・問い合わせ先

岡山県男女共同参画推進センター(ウィズセンター) ☎
 岡山市中山下1-8-45 NTTクレド岡山ビル17階 電話 086-235-3309

ウィズライブラリー

秋の夜長に読書はいかが? ☎

『元気がなくてもええやんか』 ☎

●森 毅 ☎
 ●青土社(2003年) ☎

不安の時代をいかにげんにゆるやかに乗り切るための森流処世術。☎
 「人生という芸能」「不器用でも自分の手」などなどピリッとエスプリのきいた文章の中に漂う“ノホホン”とした雰囲気、元気の出る一冊。☎

『「男女共同参画」が問いかけるもの』 ☎

●伊藤公雄 ☎
 ●インパクト出版会(2003年) ☎

日本における「男性学」の第一人者が複雑化、グローバル化する現代社会に根づくジェンダー構造、男女共同参画政策や各地で起こっているバックラッシュの構図を読み解く。☎

新着ビデオです。どうぞご利用ください。 ☎

文部科学省選定『プッシュ』 ☎

●2003年 ●28分 ☎

「相撲部に入る」と宣言した主人公・加奈をめぐって学校や家庭で巻き起こる出来事をきっかけに身近な暮らしの中から男女が共にいきいきと暮らしていける社会へ向けての“気づき”の芽を広げていく。☎

『with... 若き女性美術作家の生涯』 ☎

●2000年 ●60分 ☎

ネパールの貧困地区の小学校でボランティアの美術教師になった佐野由美さん。人々とふれあい、社会の矛盾に悩み、苦しみながら成長していく姿を4年がかりで撮った映像から伝わるものは…。☎



ウィズセンターは土・日曜日にも開館しています。☒
お気軽に、お越しください。☒

ウィズセンターはこんなところ ☒

男女共同参画社会とは、☒
男女の人権が等しく尊重され、☒
お互いが支えあい、利益も責任も分かちあえる、☒
いわば、女性と男性の☒
イコール・パートナーシップで築き上げる☒
バランスのとれた本当に豊かな社会です。☒
ウィズセンターはこうした男女共同参画社会づくりを☒
推進していくための施設です。☒

- 1 ほしい情報が手に入ります。☒
 - 関係機関の情報誌の閲覧や、男女共同参画に関する図書・ビデオなどの貸出のほか、人材情報も提供しています。☒
 - 就業に役立つ情報を提供しています。☒
- 2 相談ができます。☒
 - 女性の相談員が様々な悩みに耳を傾け、解決のお手伝いをします。☒
 - 就業に関する様々な相談に応じます。☒
- 3 学習できます。☒
 - 男女共同参画のための各種講座を行っています。☒
 - 再就職に役立つ技術講習会を行っています。☒
- 4 便利な施設が利用できます。☒
 - 男女共同参画に関する県民のみなさんの活動を支援しています。☒
 - 男女共同参画に関する活動の活性化と交流を深めるために、会議室、交流サロン、作業室などを提供しています。☒



10月からメールマガジン「ウィズおかやまかわらばん」の配信をはじめます。希望される場合は、Eメールで件名「メルマガ希望」として☒

danjo@pref.okayama.jp

まで、お申し込みください。☒

センターへのご意見はご遠慮なく☒
ハガキ・FAX・Eメールまたはセンターの提案箱へ☒

「情報誌With」は季刊発行になりました。☒

人権☒を尊重することが、☒
男女共同参画社会への☒
第一歩です。☒

最近、インターネット上において、女性差別や部落差別、障害者差別等の書き込みがされるなど、基本的人権の侵害が見受けられます。☒

私たち一人ひとりが男女共同参画に関する理解を深め、女性に対する差別や暴力のない社会、性別にとらわれず、それぞれの能力や個性が十分発揮でき、喜びも責任も共に分かち合える男女共同参画社会を実現しましょう。☒

ウィズセンター利用のご案内 ☒

開館時間 ☒ … 火～土曜日 ☒ 9:30～20:00 ☒
日・祝日 ☒ 9:30～17:00

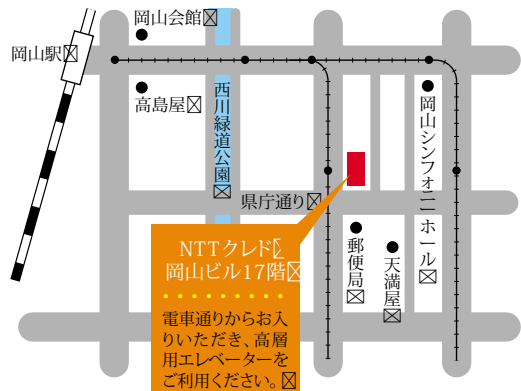
相談員による ☒
一般相談 ☒ … 火～土曜日(祝日を除く) ☒ 9:30～17:00 ☒
就業相談 ☒ (受付は16:30まで) ☒

特別相談 ☒ … 弁護士による法律相談 ☒ ● 原則第2・4金曜日 ☒
(予約制) ☒ 医師によるからだの相談 ☒ ● 原則第1土曜日 ☒

休館日 ☒ … 月曜日及び年末年始 ☒

☒ 電話 ☒ … 086-235-3307 (代表) ☒
086-235-3310 (一般・特別相談) ☒
086-235-3309 (就業相談) ☒

ホームページ ☒ … <http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/danjo/>



交通案内 ☒ … 岡山駅から徒歩10分 ☒
バス ● NTT岡山前下車すぐ ☒
天満屋バスターミナルから徒歩2分 ☒
市内電車 ● 郵便局前下車すぐ ☒

ウィズ秋号(vol.26) / 平成15年9月発行 ☒
編集・発行 / 岡山県男女共同参画推進センター ☒
〒700-0821 岡山市中山下1-8-45 NTTクレド岡山ビル17F ☒
TEL (086) 235-3307 (代) FAX (086) 235-3306 ☒
Eメール: danjo@pref.okayama.jp



古紙配合率100%再生紙を使用しています ☒